

年頭のごあいさつ

<市長コメント>

明けましておめでとうございます。

令和3年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆さまにおかれましては、心新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

未曾有の震災から復興完結に向け、これまで様々な困難を乗り越えながら、市民の皆さまとともに復興への歩みを進めてまいりました。今年も、目の前の課題一つひとつに全精力を傾注して取り組んでまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大により東京2020オリンピック・パラリンピックや本市を会場に開催が予定されていた第40回全国豊かな海づくり大会が延期となるなど、各種イベントが中止や縮小となり、これまでとは違った生活を強いられる年となりました。いまだ収束が見通せない状況でありますので、皆さまにおかれましても、引き続きソーシャルディスタンスの確保、手指消毒やマスク

着用等、感染防止策の継続や新しい生活様式の更なる実践にご協力をお願い申し上げます。

一方、本市がSDGs未来都市に選定されるなど明るい話題もありました。復興事業におきましては、誰もが安心して暮らせる地域社会を創造するため、地域包括ケアの活動拠点として整備を進めてきました「ささえあいセンター」がオープン、半島沿岸部の整備も進み、雄勝、北上、牡鹿地区の各拠点エリアの主要施設が完成し、新たなまちづくりの中核施設として始動しております。

本年3月には、震災からの復興の象徴となる石巻南浜津波復興祈念公園や複合文化施設が完成する運びとなり、これまでの復興に向けた取り組みは、着実に形になってまいりました。

東日本大震災から間もなく10年が経過しようとしておりますが、被災された方々の心のケアやコミュニティの再生といった取り組みに節目はありません。今後も市民一人ひとりの心に寄り添い、継続した支援を行ってまいります。

また、道路、橋りょう、下水道等の一部のインフラ整備など復興事業の一日も早い完成とともに、市民の皆さまが笑顔で安心して生活を送ることができるよう新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組んでまいりますので、皆さまのお力添えを

賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとりまして幸多き年になりますことを心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。